



問 定年延長で職員のモチベーションは下がらないか

職員の定年が令和5年度から2年に1歳ずつ段階的に引き上げられるが、定年引き上げが完成するのはいつになるのか。

また、管理職に就いていた職員が60歳に達した年度の翌年度から非管理職になり、給料月額も7割になる。

職員は、モチベーションを下げることなく仕事に取り組んでいけるのか。

答 プライドを持って業務に取り組めるよう環境整備を行う

職員全員が65歳で定年となり、定年引き上げ制度として完成するのは令和14年度になる。

定年引き上げの対象となる職員に対し定年引き上げ制度の趣旨や働き方について、しっかりと情報提供を行い、対象職員が制度の趣旨を十分理解した上で、それぞれが今まで培ってきた知識や経験が生かせる業務へ配置することで定年引き上げ前と同じように引き続きプライドを持って業務に取り組めるよう環境整備をしていく。

また、受け入れる側の現役世代の職員に対しても丁寧な説明を行い、定年引き上げ制度について職員全体の理解を深め、取り組みを進めていく。

その他の質疑・質問

- 駐車場における消防車の事故について
- 不登校の児童生徒の現状について
- ビジネスサポートセンターの相談について
- 企業と企業のマッチングについて
- ごみの減量化のための指定ごみ袋導入について
- 投票率を上げるために投票日当日は何をしているのか。また、民間とのコラボはしないのか

▶ 企業と企業のマッチングにより生まれた、プラスチックをメッキに見せる技術



問 高齢者が自立して生活できる社会に向けた取り組みは

生涯現役。長く働き、できれば収入を伴い、できれば寝込むことない、よく言われる「ピンピンコロリ」の人生を全うする生き方、こうした生き方は誰もが望んでいて、素晴らしい人生だと思う。

現在の日本は、医療の発達で平均寿命は大きく延びたが、それに健康寿命の延びが追いついていないのが現状である。

健康寿命延伸のための取り組みは。

答 健康寿命の延伸を目指して栄養パトロールを実施している

高齢者が地域で自立した生活ができるよう、健康寿命の延伸を目指し、低栄養・フレイル予防事業として栄養パトロールを実施している。サロンなどの高齢者の集いの場へ保健師、管理栄養士、歯科衛生士などの医療専門職が出向き、フレイル予防に関する健康教育、フレイルチェック、健康相談を実施するとともに、フレイル予防のため、講演会の開催や市広報紙、ホームページなどでの啓発を実施している。また、健診・介護・医療データが集約された国保データベースシステムを活用し、フレイルのハイリスク者を抽出し、希望者には保健師等が6カ月間の個別支援を行っている。

その他の質疑・質問

- 津市の中核市移行に係る取り組みの進捗状況は
- 運転免許証返納後に起きる問題点は
- コミュニティバスの現状や新たな取り組みは
- 後期高齢者独り住まいの問題点は
- 行動制限による健康寿命への影響について
- コロナ禍での健康寿命を維持するには
- 健康寿命に対する啓蒙活動について

▶ おしゃべりやレクリエーション、健康体操などを行うふれあい・いきいきサロンの風景

